

2 個別事業評価調書

団体名:与謝野町

事業名		防犯灯新設事業					
事業の概要		<p>防犯灯については自治会からの要望により順次整備しているが、生活道路はまだまだ暗いのが現状であり、夜間における事故・犯罪を未然に防ぐため、本事業の早期の実施が希求されている。</p> <p>夜間の危険箇所を減らすことにより、暮らしやすく快適な生活環境を創出することで、住民の安心・安全な暮らしに寄与するものである。</p> <p><内容> 防犯灯設置 26箇所</p>					
	事業期間	平成18年度					
	総事業費	1,120	本年度事業費	1,120	交付金交付額	560	
事業評価	事業の必要性	防犯灯については自治会からの要望により順次整備しているが、生活道路はまだまだ暗いのが現状であり、夜間における事故・犯罪を未然に防ぐため、本事業の早期の実施が希求されている。					
	事業の有効性	夜間の危険箇所を減らすことにより、暮らしやすく快適な生活環境を創出することで、住民の安心・安全な暮らしに寄与する。					
	事業の効率性	防犯灯は、夜間の視界を確保し事件・事故を未然に防ぐことが必須の使命である。これらはいつ発生するのかわからないため、早急に設置整備することが最大の予防策となる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
<p>夜間の危険箇所を減らすことにより、暮らしやすく快適な生活環境を創出することで、住民の安心・安全な暮らしに寄与する。</p>							
5 行財政改革に資する成果							
<p>本事業に加え、住環境や交通ネットワーク等のインフラ整備を関連させて実施することで、住民の定住促進等の効果が期待される。</p>							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。